

S-1 単独

S-1 (エスワン®)

【適応】

胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌

【投与スケジュール】

	Day1		Day14		Day21		Day28		Day35		Day42	
S-1 40mg/m ² /回 1日2回	→											
または												
S-1 40mg/m ² /回 1日2回	→					→						

●1日2回 朝・夕食後を28日間内服し、その後14日間休薬する。6週を1コースとし繰り返す。

●添付文書に記載はないが、下記のスケジュールの場合もあり(副作用により選択)

1日2回 朝・夕食後を14日間内服し、その後7日間休薬する。3週を1コースとし繰り返す。

※胃癌術後補助化学療法の場合、4週間投与、2週休薬 6週ごと 8コース

※膵癌術後補助化学療法の場合、4週間投与、2週休薬 6週ごと 4コース

※S-1 投与量

体表面積	投与量
1.25 m ² 未満	40mg/回
1.25 m ² 以上 1.5m ² 未満	50mg/回
1.5 m ² 以上	60mg/回

【S-1の減量の目安】

初回基準量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
	休薬	40mg/回 →休薬	50mg/回 →40mg/回 →休薬

【腎障害時の投与量変更例】

◎S-1

Ccr (mL/min)	>80	50~80	30~50	<30
	減量なし	必要に応じて1段階減量投与量から開始	1段階以上の減量投与量から開始	投与不可

【適正使用の目安】

検査項目		適正使用基準	慎重投与	
Performance Status (PS)		PS0~2	PS3	
膵癌、胆道癌 Performance Status (PS) あるいは Karnofsky Performance Status (KPS)		PS0 KPS 90~100%	PS1~3 KPS 30~80%	
骨髄機能	ヘモグロビン (g/dL)	9.0 以上	8.0~9.0 未満	
	白血球数 (/mm ³)	3500~12000	2000~3500 未満、12000 以上	
	好中球 (/mm ³)	2000 以上	1000~2000 未満	
	血小板 (/mm ³)	10 万以上	7.5 万~10 万未満	
肝機能	総ビリルビン (mg/dL)	ULN×1.5 倍以内	ULN の 1.5 倍を超えて 3 mg/dL 未満	
	AST (IU/L)	ULN×2.5 倍以内	ULN の 2.5 倍を超えて 150IU/L 未満	
	ALT (IU/L)			
腎機能	クレアチンクリアランス (mL/min)	80 以上	80 > ≥60	60 > ≥30
	投与開始量	初回基準量	初回基準量基準量 (必要に応じて 1 段階減量)	原則として 1 段階以上減量 (30~40 未満は 2 段階減量が望ましい)

投与不可：クレアチンクリアランス 30mL/min 未満

【クレアチンクリアランス】

実測値がない場合はクレアチンクリアランス推定値を使用

クレアチンクリアランス推定式 (Cockcroft-Gault 式)

$$= (140 - \text{年齢}) \times \text{体重 (kg)} / (72 \times \text{血清クレアチニン値 (mg/dL)})$$

※女性の場合は得られた値を 0.85 倍にする。